

数学通論 I (2010 前期)

- 1 变数の微積分を中心に、医療統計等で必要になるであろう予備知識を提供する。高校数学との接続性を重視し、過度に理論的にならぬよう配慮する一方でまた計算技術に陥らぬことを心がけたい。
- 授業は、
<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/calculus/cal1-2010.pdf>
に沿って進めるので、各自必要な部分を印刷し予復習に努められたい。微積分の本は沢山出ているので、図書館・書店で手に取って、気にいったものを 1 冊購入し参照することを勧める。
- 成績は、授業時間内で行う 4 回の試験の結果による。6割以上の得点で合格。
- オフィスアワーは、火曜 12 : 30 - 13 : 30 ((理 A 349))。事前予約等は、
yamagami@math.nagoya-u.ac.jp
まで。
- 授業の情報は、
<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/calculus/tsuron2010.html>
に随時掲載の予定。

進度予定表

4/15	微分の復習と関数の増大度
4/22	逆三角関数の微分と積分
5/06	試験 1
5/13	積分の意味と計算
5/20	有理関数の積分
5/27	試験 2
5/29	一次・二次近似式と関数の状態 (振替日)
6/10	Taylor の公式と無限小のスピード
6/17	Taylor 展開と極限計算
6/24	試験 3
7/01	広義積分
7/08	数列の収束と発散
7/15	ガウス積分
7/22	試験 4
7/29	授業なし (レポート代替)